

**令和6年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和6年12月
海老名市立大谷小学校**

令和6年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

(1)教科に関する調査(国語、算数)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

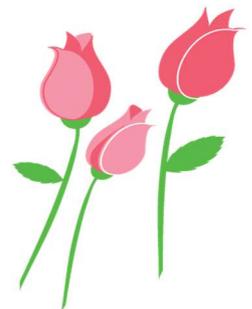
(2)生活習慣や学習環境等に関する質問調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

調査実施日

令和6年4月18日(木)

※児童生徒質問調査について、児童生徒が活用するICT端末等を用いたオンライン方式により実施



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にし、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。
- ・登場人物の相互関係や心情を、描写を基にして捉え、人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることや、読書が自分の考えを広げることに関わりと気付くことができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 集めた情報を正しく理解したり、整理したりすることはできています。
- 物語の設問で登場人物の心情を問う問題はよくできていました。

◆課題のある点

- 集めた情報からわかること(事実)と感想を区別したり、その根拠を相手に伝わるように、書き表したりすることに課題があります。
- 物語の感想をまとめ、その根拠について整理して伝えることに課題がありました。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 題材について自分が考えたことや感じたことを表現する学習を積極的に取り入れていきます。その際には、理由や根拠を明確にするなどして、自分の考えを言葉にできるように指導していきます。
- 友達と考えの交流をする場を設定し、相手に分かりやすく伝えるための方法(話の組み立て、資料の活用など)について学習していきます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・示された場面を解釈し、数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる。
- ・問題場面の数量の關係に着目し、計算の仕方や計算の結果について考察できるかどうかをみる。
- ・立体図形について、図形を構成する要素やそれらの位置關係に着目し、図形の構成の仕方や図形の性質について考察できるかどうかをみる。
- ・日常生活の問題を解決するために、示された場面を解釈し、異種の二つの量の割合として捉えられる数量の關係について考察できるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 数量關係を読み取って、式に正しく表したり計算したりし、生活場面に生かすことができます。
- グラフや表について正確に読み取ることができています。

◆課題のある点

- 速さを問う問題で、どちらが速いか筋道立てて説明することに課題があります。
- 球の直径の長さや立方体の一片の長さの關係を捉え、立方体の体積を求める問題で、直径や体積を求めることに課題が見られました。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 友達と自分の考えを比較・検討する場を設定します。他者に説明するときには筋道を立てて考えを表現できるように指導していきます。
- 課題に取り組むときには、これまでの学習と関連づけたり、違いを見つけたりすることで、見通しをもつことができるようにし、いろいろな性質や法則を見出したり確かめたりできるように学習します。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- PC・タブレットなどの ICT 機器を活用して、友達と協力しながら楽しく学習を進めることができる児童の割合が高いです。
- 言葉や数、式を使って、わけや求め方を書く算数の問題に対して、「最後まで解答を書こうと努力した」児童の割合が非常に高いです。

◆本校の課題と思われるところ

- 自分の考えを発表する時、自分の考えがうまく伝わるように、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表することが少ない傾向にあります。
- 学習したことを次の学習につなげたり、生活に生かしたりすることができていないと選んだ児童が比較的多い傾向にあります。

生活について

◆本校のよかったところ

- 「朝食を食べる」「毎日同じくらいの時刻に寝る・起きる」など生活習慣が整っている児童が多いです。
- 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている児童が多いです。
- 友達関係に満足している児童の割合が高い傾向があります。

◆本校の課題と思われるところ

- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う児童の割合が全国平均と比べて低いです。
- 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができると回答した児童の割合が全国平均と比べて低いです。
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童の割合が低いです。

今後の具体的な取組について

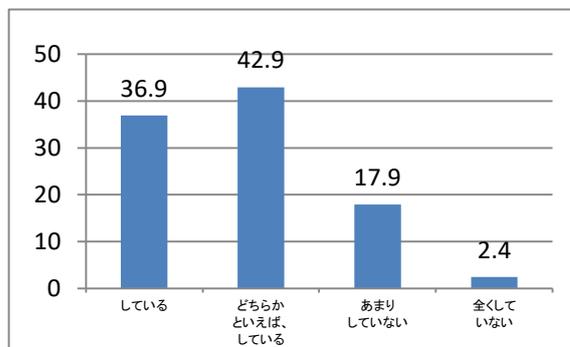
- 学習や生活において、多くの望ましい態度や行動が見られます。基本的な生活習慣が身につけていることが大きく影響しているものと考えられます。今後もよろしく願います。
- ICT機器が身近にあり、活用しようとする態度が育っています。引き続き活用していこうという態度が育っていくような学習の場の設定に努めます。
- 様々な場面で友達と意見を交換したり、互いの良さを認め合ったりしながら、自己肯定感を高めていけるように努めます。
- 今取り組んでいる学習を次へと広げていったり、生かしていったりする姿勢の育成を意識していきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフ(%)は本校の児童質問紙の結果です。

1 引き続き、生活習慣を整える大切さを伝えてください。

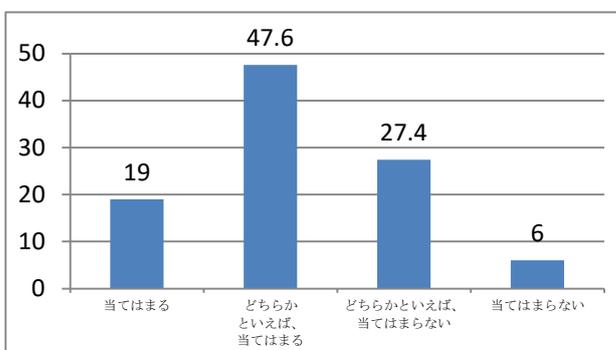
規則正しい生活や、十分な睡眠は健康な心や体の発育につながります。ご家庭でも引き続き、生活習慣を整える大切さを伝えていってください。



毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

2 考えの違いを知る経験や違った考えも尊重する経験を積みましょう。

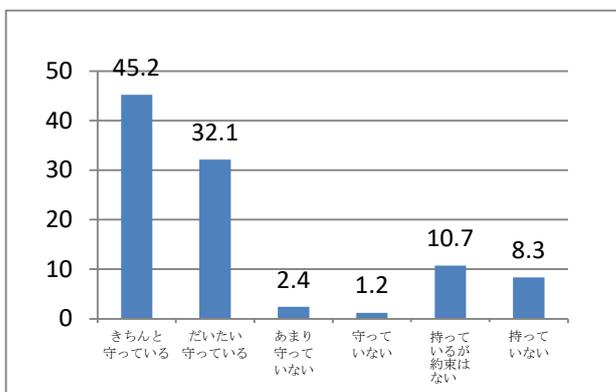
ご家庭での会話の中でも、お子さんの考え方や思いを積極的に聞いてください。また、おうちの方の考えや思いを伝えることで、相違点に気づく経験も貴重です。家庭や学校を通して様々な考えに触れることは多様性の理解につながります。



自分と違う意見について考えることは楽しいと思えますか

3 ICT機器の活用方法についてご家庭でも話し合ひましょう。

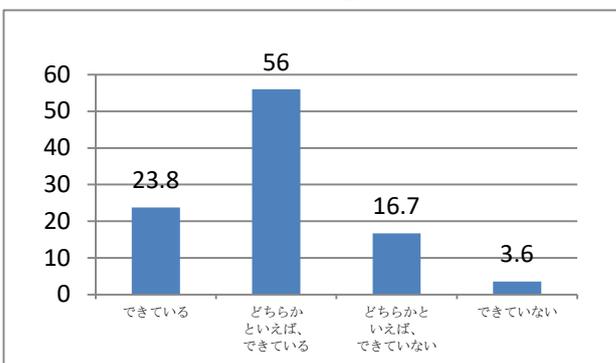
これからの時代を生きる子供たちにはICT機器の活用が大きく求められます。しかし、ICT機器は手段であり、目的ではありません。使用時間や使用のマナー等、よりよく活用するために必要なことをご家庭でも引き続き話し合ってください。



携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか

4 お子さんの挑戦を見守りましょう。

自分で考え、工夫して行動する力をつけていくために、お子さんの挑戦を見守っていきましょう。学校も家庭も失敗しそうな時に、色々教えてあげたくなることもあると思いますが、励ましと見守りで、自発的に考える機会を増やしましょう。



分らないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか

文部科学省における学習指導の改善・充実に向けての主な取組

1. 調査結果を活用した追加分析等

- 令和6年度までの調査の結果を活用した追加分析
- 個票データ等の貸与

2. 学習指導要領の着実な実施

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 授業改善に資する情報提供等(国立教育政策研究所)

3. 児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組の推進

- 道徳教育や特別活動、体験活動、生徒指導など学校教育活動全体を通じて児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組を推進

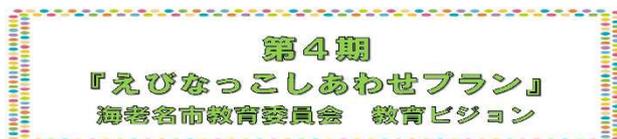
4. GIGA スクール構想の更なる取組の推進

- 自治体・学校への伴奏支援の取組
- 学校の ICT 環境整備の推進
- 校務 DX の推進
- 学校の ICT 環境を活用した取組

5. 教師を取り巻く環境整備

- 学校の指導・運営体制の充実
- 教師の育成支援の一体的推進
- 教職員定数の改善や業務支援スタッフの充実に係る支援
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組の推進

海老名市における学習指導の改善・充実に向けての主な取組



キーワードは「**包摂性**」
誰ひとり取り残さない教育
実現をめざします



①授業改善の実践 ②教育支援体制の充実 ③みんなで取り組む学校づくりの推進

＜①授業改善の実践＞

- 「主体的・対話的で深い学び」を追求し、授業改善を継続します
- こどもたちが主体的に学習に取り組むために、よりよい学習計画の在り方についての研究に取り組みます
- 「協働的な学び」の実践を重点として、授業改善の研究に取り組むとともに、「個別最適な学び」の実践も積み重ねます
- 教職員が主体的に学ぶ研修の場の充実に努めます。

【市の結果についての問い合わせ先】
海老名市教育委員会教育支援課 指導係
電話 046-235-4919